

## 対策 3. 環境消毒・換気

咳やくしゃみなどの症状がある人が、手で鼻や口をおさえると、手にウイルスがつきます。その手で手すり、テーブル、ドアノブなどに触れることで、ウイルスが環境表面につきます。そして、他の人がその場所を知らずに触り、自分の口、鼻、目を触れることで感染することがあります。

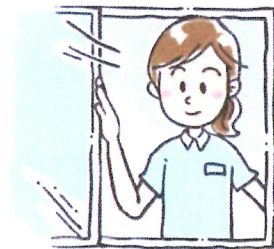
### <環境消毒>

- 家族がよく触れる場所(部屋のドアノブ・照明のスイッチ・リモコン・トイレのレバー等)を消毒します。
- 1日1～2回、ドアノブ、テーブル、てすり、スイッチなど、手のよく触れるところを、薄めた漂白剤(0.02%次亜塩素酸ナトリウム水溶液)または、アルコールを含んだティッシュで拭きましょう。

※漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム水溶液)を使用した場合は、拭いた場所がさびるおそれがありますので、消毒後は水拭きしてください。

### <換気>

- 感染症の伝播(うつる)を防ぐためには、部屋のウイルス量を下げするために、部屋の十分な換気を行います。日中は2～3時間ごとに窓や扉を開けるなどして部屋の空気を新鮮に保ちましょう。



### <空間>

- 症状がある家族とは、できる限り部屋を分けましょう。部屋は、窓のある換気ができる部屋にします。
- 症状がある家族本人および同居の人は石鹸と流水でよく手を洗い、同じ部屋などで目安として1～2メートル以内で接するときは、どちらもマスクをしましょう。

## 感染予防に関するQ&A

※新型コロナウイルス感染症の発症者に関する情報がまだまだ不十分なため、同じコロナウイルスのグループに属する中東呼吸器症候群(MERS)に関する注意点に沿って説明しています

### Q1 感染した(疑われる)家族を看病する場合に気をつけることは？

A. 可能であれば、看病を行う人は1人に限定しましょう。

看病をする人をなるべく1人に限定することで、接触のリスクを下げることができます。

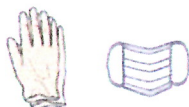
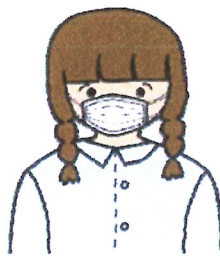
看病をするときは、手袋やマスクをつけ、使用したマスクや手袋などはビニル袋に入れて袋を閉じて捨てます。看病のたびにこまめに手洗いを行います。

看病するひと毎日2回は体温測定を行い、感染症状が出てこないか十分に気を付けましょう。



症状のある人

マスクを着用します



看護をする人

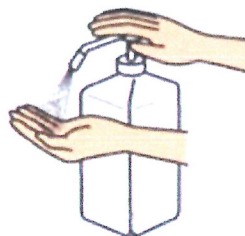
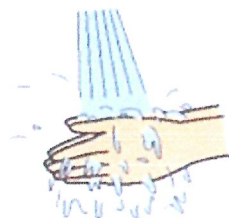
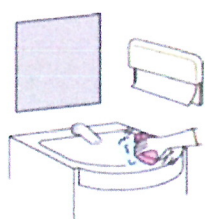
マスク・手袋を着用します  
こまめな手洗いを行います



**Q2. 手を洗うときに気をつけることは？**

A. 手はこまめに洗います。流水と石けんで洗います。洗った後は、ペーパータオルやティッシュで水をふき取り、しっかり乾燥させます。家族でタオルを共有することは避けましょう。

いつでも手指を消毒できるように、消毒用アルコールを準備しておくといいです。



**Q3. 食事の時気をつけることは？**

A. 感染の可能性のある人と食事する際は、食器の共用は避けます。使用後の食器は、消毒液に5分以上浸した後、通常の洗浄を行えば、その後の他の人への使用は可能です。



食事は、別々に盛り付けます



大皿からの取り分けはしない  
使用後の食器は、通常の洗浄後、他の人への使用可